観光アプリと防災情報の連係 〜安全・安心なまちあるき〜

公立はこだて未来大学 高度ICT演習 観光系プロジェクト はこだてMap+防災班

M1:山田亜美(リーダー), 前田実優

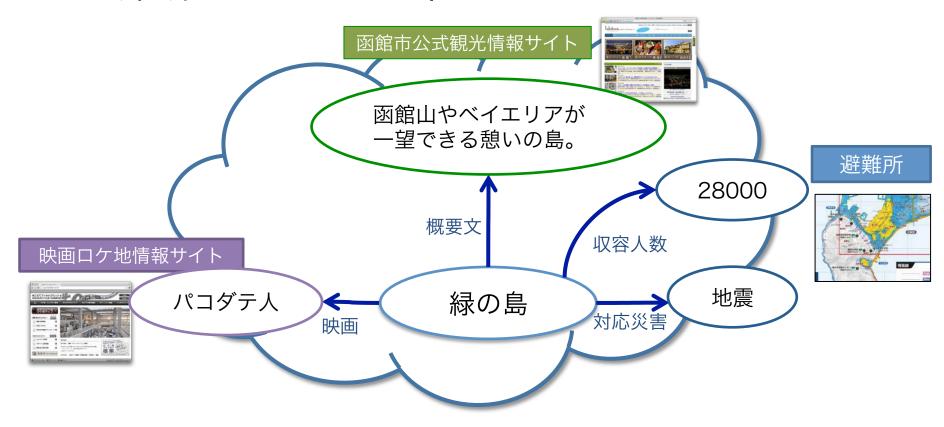
B4:工藤卓也,吉田匡孝

B2:小関大河, 矢野颯太

B1:横山新

アイデア

- □ 観光アプリと防災情報の連係
- 避難所データのLOD化



背景

- 観光客は、初めての土地で災害が発生すると どこに避難すればよいかわからない
- 普段から使う観光アプリに防災機能を追加する ことで、災害を想定していない観光客でも 災害に対応できる
- □ 平常時からも利用可能な機能にすることで、 観光客の防災意識が高まることが期待できる

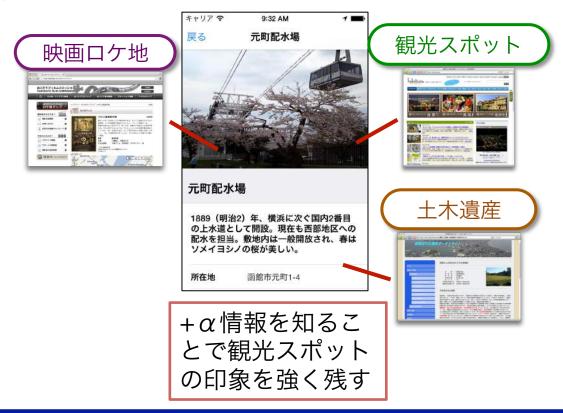
連係するアプリ:はこだてMap+



- 観光情報に加えて、映画ロケ地など新たな情報 (+α情報)を発見できる、まちあるきiPhoneアプリ
- □ LOD化された観光情報を追加していくことが可能



まちあるきや観光 スポットをアプリ がガイド



はこだてMap+の観光まちあるき機能







(ピンを選択)

「<mark>桜の名所</mark>」 としての 元町配水池

観光スポットの 概要文、住所、電話 番号、アクセス、 エリア、映画ロケ地 情報・土木遺産 情報ボタンの表示

観光スポット



映画ロケ地



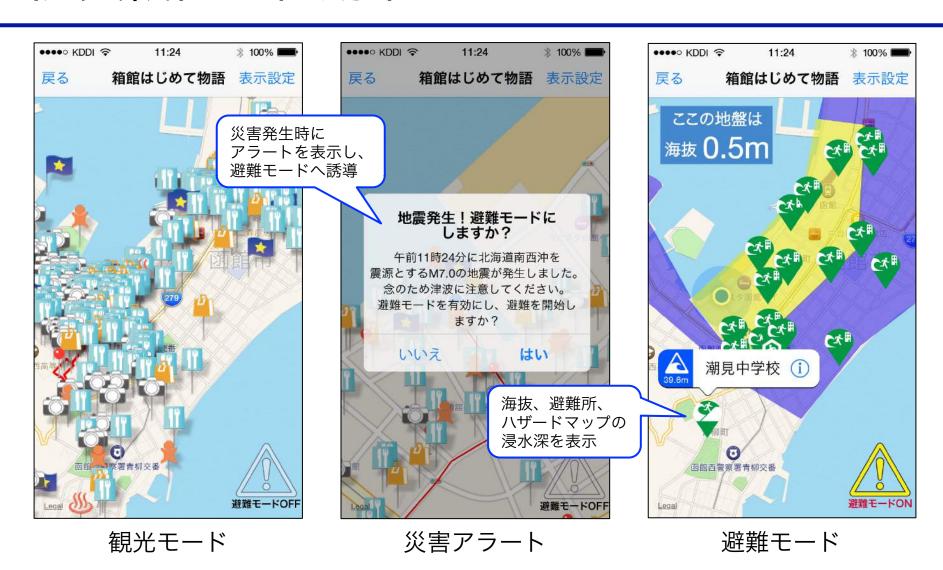
「映画 Little DJ のロケ地 としての元町配水池

土木遺産



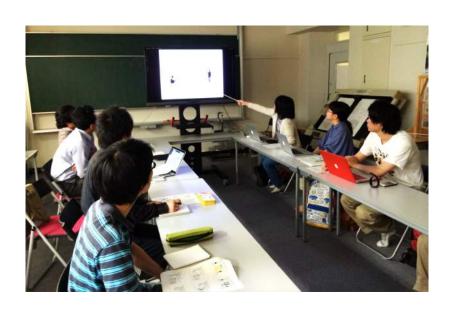
「日本最古の配水池」 としての元町配水池

防災機能の初期案



防災の専門家からのレビュー

- 2014年7月3日、津波防災を専門とする 函館高等工業専門学校の先生方から 検討したアプリに関してアドバイスをいただいた
- □ 津波避難所、津波避難ビルのデータを提供していた



レビューを受けた結果

- □ 津波ハザードマップの使用について
 - ▶浸水予測はある特定の状況にのみ対応している
 - ▶災害時には津波ハザードマップを使用しない
- □ どの方向を向いているかが重要
 - ▶停電してしまうと暗くて方向がわからない
 - ▶観光客は土地勘が無い
 - ▶進行方向を表示する

防災機能の最終案

- □ 避難所のピンと海抜の表示
- □ 避難所の詳細情報
- □ 観光モードと避難モードの切り替え
- □ 災害アラート

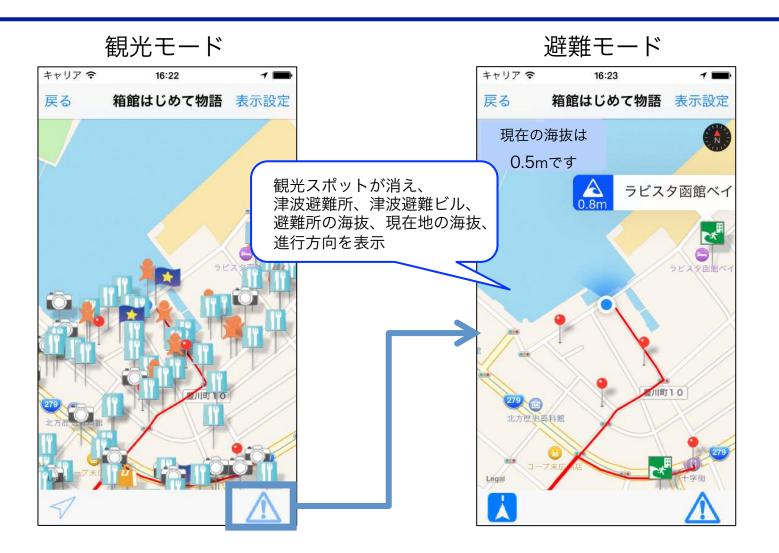
避難所のピンと海抜の表示



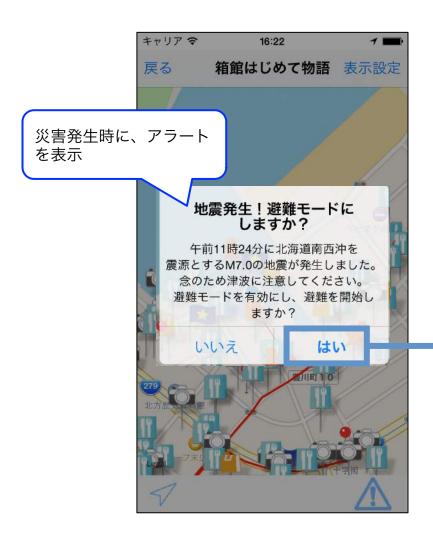
避難所の詳細情報



観光モードと避難モードの切り替え



災害アラート





シナリオ | 観光中(現在地の海抜の表示)





函館に訪れた観光客が はこだてMap+を使って まちあるきをしている 2

ここの海抜 低すぎかも...



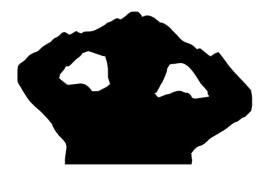
現在地の海抜を見て、 津波の影響があるかを 意識する



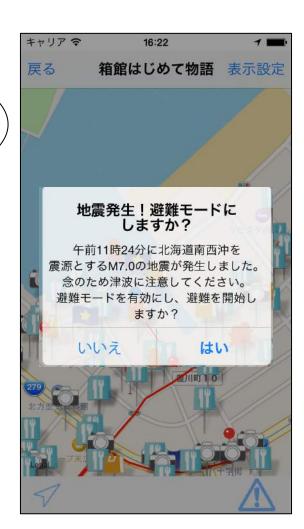
シナリオー災害時(避難モードへの切り替え)

3

わっ! 地震だ!



観光中に震度5以上の 地震が発生し、<mark>防災</mark> アラートが来る

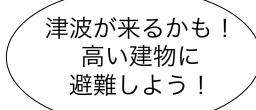


避難モードに切り替えよう!

通知から避難モードに 誘導されるため、スムー ズに切り替えることが できる

シナリオ | 災害時(避難所の表示)







避難モードで、近くの 津波避難場所を探す





地図の表示から、近くにある津波避難ビルであるラビスタに避難しようと決めることができる

函館市へのLOD化の提案

□ 2014年12月24日、函館市総務部防災担当の 方々に活動報告と避難所データのLOD化の 提案を行った



函館市への提案の結果

- □ 避難所データのLOD化と防災機能の追加に 賛同していただいた
- □ データを公開することは過去に事例がないので 時間がかかる
 - ▶条例改正が必要の可能性もある
- □ 現在、函館市と避難所データのLOD化に向け 活動中

防災機能の実証実験

■ 2015年1月18日に、観光防災研究会のメンバーと学生に、実際にまちあるきをしながら 開発した防災機能を使用してもらった





実証実験の結果

- 被験者は避難所の位置と海抜を参考にしながら 避難所までスムーズに移動することができた
- □ 評価は良好であり、今後の改善に繋がる意見を いただくことができた

今後の活動

- 函館市の避難所データのLOD化に向け、 データ作成や提案発表などの活動を進める
- □ 2015年1月末にアプリのアップデートを行い、 はこだてMap+の防災機能を一般向けに公開する